

令和5年度 公益財団法人鍋島報効会 研究助成 募集要項

1. 募集概要

(1) 趣旨・目的

鍋島報効会では佐賀の歴史や文化、自然環境、社会活動などについて、よりよき研究を深め、その成果を県民の方々に啓蒙・普及していくことが、郷土の学術の振興及び文化の充実・発展に寄与するものと考え、研究助成事業を行っています。この助成が、若い世代の方々にとってこれから研究を志す上での糧となること、また将来を担う子どもたちが郷土に目を向け知的探求心を育むことを期待し、これを広く一般公募するものです。

(2) 対象

①論文コース

【内 容】佐賀に関連する研究に対し助成します。分野は、人文科学（歴史・文学・社会科学等）及び自然科学（科学技術・生物・植物・鉱物等）の幅広い分野を対象とします。

【期 間】単年度を原則とし、令和5年度は令和5年4月1日～令和6年3月31日の1年間となります。但し、大学院修士課程・博士課程及び学芸員資格取得を目指す学生が複数年に及ぶ研究を希望する場合はご相談ください。

【対象者】原則として、高校生以上、39歳以下（グループ研究可）
但し、40歳以上でも他の研究費助成を受けていない場合は申請可能です。

【助成額】原則として、一件あたり25万円を上限とします。

②探究活動コース ※令和4年度新設

【内 容】佐賀県内で行われる、研究行為に準ずる探究活動に対し助成します。学校内外いずれにおける探究活動も対象に含みます。

【期 間】令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）に行われる活動。
但し、年間3日以上活動をを行うものに限りします。

【対象者】佐賀県内の小学校～大学に通う児童・生徒・学生（グループ活動可）
但し、未成年による活動の場合、成人の活動責任者をおいてください。

【助成額】一件あたり20万円を上限とします。

2. 申請・選考

(1) 申請方法

当財団所定の様式で下記の書類を財団事務所へ郵送にて提出してください。
所定の様式は、当財団事務所もしくは下記ホームページより入手できます。
(<https://www.nabeshima.or.jp/main/512.html>)

【論文コース】

- ・令和5年度公益財団法人鍋島報効会研究助成申請書（論文コース）
- ・令和5年度公益財団法人鍋島報効会研究助成予算書

【探究活動コース】

- ・令和5年度公益財団法人鍋島報効会研究助成申請書（探究活動コース）
- ・令和5年度公益財団法人鍋島報効会研究助成予算書

コースによって申請書の様式が異なりますのでご注意ください。予算書は共通です。
なお、提出された書類は返却いたしません。

(2) 申請受付期間

令和4年10月1日(土)～12月28日(水)(必着)

(3) 選考・通知等

選考委員会による選考の上、当財団理事会の決議ののち、令和5年3月10日頃に選考結果を通知します。

なお、採択者は令和5年4月上旬に執り行う授与式に参加していただき、令和6年5月～6月頃に一般公開の報告会で成果を発表していただきます。

※ コロナウイルス感染症拡大状況により予定が変更となる場合があります。

3. 研究成果の報告・明示

①論文コース

(1) 助成年度中の12月末までに、所定の様式で進捗状況を中間報告して下さい。

(2) 助成年度末日までに、研究成果報告書および会計報告書を提出して下さい。

※会計報告書には領収書の写を添付していただきます。

(3) 助成の翌年度の5～6月頃に開催する一般公開の報告会で成果を発表して下さい。

(4) 本助成で得られた研究成果を公表する場合は、その旨を明示して下さい。

(5) 研究内容や助成金の使途に変更がある場合は、事前に申請して下さい。

(6) 上記の事項に反した場合は、助成金の返還を求めることがあります。

②探究活動コース

(1) 助成年度末日までに、活動成果報告書および会計報告書を提出して下さい。

※会計報告書には領収書の写を添付していただきます。

(2) 助成の翌年度の5～6月頃に開催する一般公開の報告会で成果を発表して下さい。

(3) 本助成で得られた活動成果を公表する場合は、その旨を明示して下さい。

(4) 活動内容や助成金の使途に変更がある場合は、事前に申請して下さい。

(5) 上記の事項に反した場合は、助成金の返還を求めることがあります。

4. 留意事項

(1) 決定した助成金は、原則として申請者本人名義または申請団体名義の指定口座に振り込みます。実際の支出額が助成額に満たなかった場合は、報告提出後に精算します。

(2) 研究・活動成果を掲載した「公益財団法人鍋島報効会研究助成 研究報告書」を隔年で発行しています。令和5年度の研究成果は令和7年度発行の報告書に掲載予定です。

申請書の提出先・問合せ先

〒840-0831 佐賀市松原二丁目5番22号

公益財団法人鍋島報効会 事務局

TEL・FAX 0952-23-4200

メール info@nabeshima.or.jp

公益財団法人 鍋島報効会 研究助成事例

※平成13年度～令和3年度助成対象研究テーマ（一部）です。
過去の全ての研究テーマは当財団ホームページよりご覧いただけます。

【歴史】

- ・「佐賀藩士深江氏旧蔵文書の復元による「家意識」の検討」（令和3年度）
- ・「戦前期佐賀県内炭鉱の古洞等に関する基礎データ整備」（平成29年度）
- ・「環有明海地域における荘園制と地域社会のネットワーク」（平成28年度）
- ・「鹿島鍋島家文書の基礎的研究 ―総合目録の作成による全容把握と課題の提示」（平成24年度）

【美術・工芸】

- ・「イタリア時代の百武兼行研究 ―ローマにおける制作環境と画題選択の背景を探る」（平成30年度）
- ・「神像の研究 ―鳥栖・幸津天満神社の男女神像を中心に」（平成25年度）
- ・「蒼海副島種臣の書研究 ―書風変遷を中心として」（平成20年度）
- ・「日本近代洋画における琳派の受容 ―岡田三郎助の場合」（平成17年度）
- ・「肥前刀の総合的な研究 ―八代忠吉の懸案事項、新左衛門銘の再検討」（平成16年度）
- ・「二彩・単色釉・刷毛目・三島手の再検討」（平成14年度）

【考古学】

- ・「佐賀藩・唐津藩の沿岸防衛に関する考古学的研究」（令和元年度）
- ・「寺院遺構からみた脊振山上宮・東門寺跡と中宮・霊仙寺跡の研究」（平成23年度）
- ・「有明海北岸出土の弥生時代青銅器の研究」（平成20年度）

【民俗学】

- ・「佐賀県における農村舞台の分布について」（平成27年度）
- ・「佐賀にわか ―その系譜と佐賀の芸能」（平成23年度）
- ・「くど造り民家の再検討」（平成21年度）
- ・「佐賀城下町の歴史・文化の掘り起こし―片田江七小路・古老からの聴き取りを中心に」（平成15年度）

【文学】

- ・「佐賀県の女性文学を探る ―近現代」（平成21年度）

【社会科学】

- ・「佐賀文化新聞の発行」（平成17年度）

【生物学】

- ・「外来魚による溜池の魚類相の変化と産卵床を用いた外来魚駆除の試み」（平成21年度）
- ・「佐賀平野および有明海の生物相調査」（平成14年度）
- ・「カブトガニ研究報告 伊万里高校内のアリの分布調査」（平成13年度）

【植物学】

- ・「市民による佐賀県内のタンポポ調査 ―身近な植物タンポポで分かる地域の環境」（平成27年度）
- ・「脊振山山頂付近に自生するブナ小集団林床における発芽実生の現地探究と保護育成」（平成25年度）
- ・「シチメンソウの増殖研究 ―有明海沿岸におけるシチメンソウ生育地の環境調査研究」（平成20年度）
- ・「土壌シードバンクを用いた自然再生の研究Ⅱ」（平成15年度）

【気象学】

- ・「佐賀県における農業気象災害の変遷と回避・減災対策の提案」（平成19年度）
- ・「酸性雨の研究 ―降雪雨の酸性度予報」（平成14年度）